

基礎学力の定着と活用力の向上を目指した取組

～へき地・小規模校の特長を生かして～

曾爾村立曾爾中学校

本校は全校生徒 29 人(平成 22 年度)、山間へき地の小規模校である。概ね生徒は素直であるが「自分には、よいところがあると思いますか」「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」等に課題があることが分かった(平成 21 年度全国学力・学習状況調査による)。また、特に数学 A(主に知識力)に課題が見られたので、基礎学力を定着させるために宿題や補習を課したり、コミュニケーション能力を向上させるために見聞や実感を伴うような体験を多くさせたりすることでその解決を図ろうと全校体制で取組を進めた。

さらなる授業時数の確保等に向け、平成 20 年度から二学期制を試行し、比較的自由度が高くなった 12 月に村内の国立曾爾青少年自然の家で、二泊三日の「全校学力向上合宿(通称 GUTS)」を実施している。

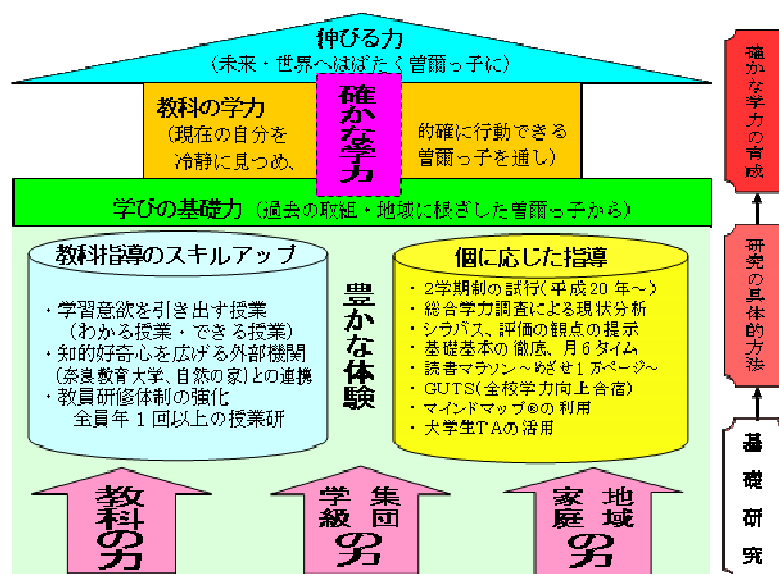
また、生徒・教員の知的好奇心を広げるため、平成 17 年度より奈良教育大学の「先導理数プロジェクト」(新世代を先導する理数科教員養成プログラム;その後「新理数」に発展)とのサマースクールやウィンタースクールにおける理科や数学の実験や実習を通し、大学生や大学教員との交流を続けている。

さらに、創造性や記憶力を高める手段として注目されはじめた「マインドマップ」を教育に活用するため「マインドマップ講演会」を実施(平成 21 年 7 月)し、授業での活用を進めている。

(1) 取組の実際

① 研究の目的

本校では、学力向上拠点形成事業(平成 17 年～19 年)や学力向上実践研究推進事業(平成 20 年～)などの文科省等の指定研究や県へき地教育研究大会(平成 18 年)などを通して、「学力向上」「キャリア教育」「ふるさと学習」を三本柱に据え、「ワンランクアップの学校目指して～曾爾中だからこぞできる教育、曾爾中にしかできない教育」を合言葉に様々な取組を行ってきた。



曾爾中学校学力向上構想図

②研究内容

ア 授業改善に向けた取組

- ・校内体制の整備（二学期制の試行）

さらなる授業時数増を目指し、二学期制を試行した(H21～22)。始業式・終業式を減らし、長期休業期間を弾力的に運用することにより、授業時間を平均 31 時間増やすことができた。

年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	二学期制の 3 年間平均
学期制	三学期制	二学期制			
年間授業日数(全学年平均)	202 日	197 日	195 日	204 日	199 日
年間授業時数(全学年平均)	1043 時間	1043 時間	1041 時間	1087 時間	1057 時間
H19 年度と同日数に換算した授業時数	1043 時間	1069 時間	1078 時間	1076 時間	1074 時間
総授業時数の増減	±0 時間	+26 時間	+35 時間	+33 時間	+31 時間

- ・分かる授業を目指した職員研修の充実

非常勤講師を除く全教員が年 1 回研究授業を実施。国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・英語の 8 教科で、県教育委員会から指導主事を招へいして指導をいただいた。

イ 奈良教育大学との連携

- ・サマースクール（8 月下旬の 4 日間）、ウィンタースクール（3 月初旬の 1 日）

数学や理科の実験・体験などを通して、より一層の学力向上を図る取組を計画的かつ継続的に実施している。第 3 回「サマースクール(H20)」から、石田・菊池先生の御協力で解剖実験を実施している。「ウシガエル(H20)」「スルメイカ(H21)」「マルアジ(H22)」と続き、毎回最後はから揚げやパスタにして「命」をおいしくいただき、素材の味を楽しむ生徒が多い。

午前中は大学生 TA も交え
学力向上支援



マルアジの解剖

- ・GUTS での TA(学習支援)協力、教育実習生の受入れ

奈教大新理数の学生が GUTS での学習支援や、理科の教育実習生(H20: 2 名、H21: 1 名)として来校。大学生との交流を楽しみにする生徒が多い。

ウ 学習習慣の定着に向けた取組

- ・「月 6 タイム」の実施

月曜日の 6 限目を自主学習の時間と設定。全校生が多目的室と図書室に集まり、宿題をする者や受験用問題集の質問をする者など、自主的・積極的に学習している。



月 6 タイム

- ・「問題データベース」の利用

学習進度や理解度に応じて Web ページから問題シートをダウンロードできる、東京書籍「問題データベース」を利用して、夏期・冬期休業中や GUTS で



問題データベースの利用

復習し、基礎学力の定着に努めた。(H21年度)

- ・「GUTS(全校学力向上合宿)」の実施(12月)…H20年度～《Gakuryoku Up Training in Soniの略》

目的「学力を徹底して鍛え上げ、家庭学習の習慣化を図り、集中力や自律心、コミュニケーション力の向上を目指す」



数学 with 大学生

国立曾爾青少年自然の家に教室を移し二泊三日の学習合宿を実施。奈教大の学生6人の協力も得、1日8時間の授業と早朝・夜の自主学習を通して、学習の習慣化や集中力アップを図った。また、野外合奏(静かな高原の音響効果を利用した合奏)・測量(地形図とメジャーによるお亀池の計測)・瞑想タイム(心を鎮め”無”になる)・音読破(「風の又三郎; H21/90分間」、「山椒大夫; H22/80分間」を全員で音読・読破する)・大学生による「私の勉強法」など、普段できないような取組にも挑戦した。



瞑想タイム



音読破「山椒大夫」



閉講式後、全員で…

第3回 GUTS～Gakuryoku Up Training in Soni～活動計画表《2010年度》

※時間割で、下線斜体字の授業は**体操服**です。

開始時刻 終了時刻	2010年12月16日(木)		2010年12月17日(金)		2010年12月18日(土)	
	活動計画	備考	活動計画	備考	活動計画	備考
5:30 S	中学生は8:00発の特別便に乗車する。(新弁天橋方面16人:スクールバス)(山粕方面 13人:スクールバス)		3年 5:30起床 (自主学習)		3年 5:30起床 (自主学習)	
6:00	※欠席連絡は、8:00までに学校へ		1・2年 6:30起床(整理・整頓) ◆2Fやすらぎ		1・2年 6:30起床(整理・整頓) ◆2Fやすらぎ	
6:30 S	菅爾中学校 TEL: 0745(94)2014		7:00清掃/7:15朝の集い ◆1Fロビー	日出 7:00	7:00清掃/7:15朝の集い ◆1Fロビー	日出 7:00
7:00	◆宿泊棟=1・2年、きのご機、3年 さかな棟		7:30朝食/自由時間		7:30朝食/荷物を持って教室へ	
7:30 S	★教室=1年 よろい、2年:かぶと、3年:びょうぶ		8:35 瞑想タイム ◆くろそ / 制服に着替え		8:35 瞑想タイム ◆くろそ / 制服に着替え	
8:00	入所式 ◆1Fロビー(レストラン前)/入室		(1年 2年 3年) 職員室		(1年 2年 3年)	
9:10	9:20～ (社会・英語・国語)	かめやま	1限目(英語・社会・数学)		1限目(国語・社会・英語)	
10:00	10:10 (英語・理科・数学)		2限目(数学・英語・社会)		2限目(数学・英語・国語)	
10:10	11:10 (数学・国語・英語)		3限目(理科・数学・英語)		3限目(社会・理科・数学)	
11:00	12:10～ 持参弁当(戸外orびょうぶ)		昼食(食堂)/自由時間		昼食(食堂)/自由時間	
12:00	(45分間) /自由時間					
13:00	4限目(国語・社会・理科)		4限目(音読破(国語))		4限目(英語・国語・社会)	
13:50	5限目(美術・数学・社会)		5限目(森鷗外「山椒大夫」～ ◆びょうぶ)		5限目(学活・数学・理科)	教室で着替え
14:00	6限目(美術)		6限目(保健体育)		6限目(生徒会球技大会) ◆プレイホール	
15:00	◆野外館内		◆プレイホール		/制服に着替え	
16:00	自由時間(私服に着替え)		自由時間(私服に着替え)		16:15退所式◆集いの広場★集合写真	
16:50 S	夕べの集い ◆1Fロビー	日入 16:48	夕べの集い ◆1Fロビー	日入 16:48	16:30の特別便で一斉下校	
17:00	夕食/自由時間		夕食/自由時間		※自然の家バス1台、弁天～山粕へ	
17:50	7限目「天体の学習」(理科)野外観望を含む ◆びょうぶ ※防寒着の着用		7限目(学活「私の勉強法」from大学生) ◆びょうぶ		《備考》	
18:00	8限目「自主学習」 ◆さかな棟やすらぎの部屋		8限目(音楽)		※夜食有り(パン2つ)。	
18:50	1・2年:1Fやすらぎ、3年:2Fやすらぎ		◆エコロジー		※睡眠時間:1・2年=8:00,3年=6:30～7:30	
19:00	入浴 自由時間		入浴 自由時間		※大学生TA(ティーチング・アシスタント)	
20:00					16日:1人	
21:00	9限目「自主学習」 ◆さかな棟やすらぎの部屋		9限目「自主学習」 ◆さかな棟やすらぎの部屋		17日:2人	
21:50	1・2年:1Fやすらぎ、3年:2Fやすらぎ		1・2年:1Fやすらぎ、3年:2Fやすらぎ		18日:6人	
22:00	就寝準備:部屋長会議:1日の反省	3年希望者は最終	就寝準備:部屋長会議:1日の反省	3年希望者は最終		
22:30	就寝(ねまきor体操服):就寝23:00		就寝(ねまきor体操服):就寝23:00			

「GUTSを終えて」～生徒の感想より～

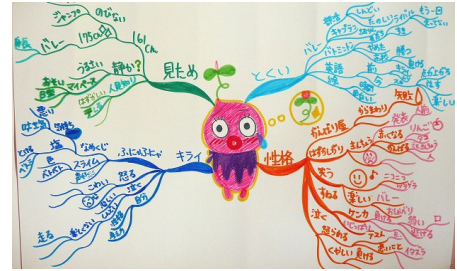
- ・こんなに集中して勉強したのは初めてだ。(1年)
- ・寒かったけど久しぶりに改めてゆっくり星を見て「本当にキレイやなあ」と見とれていました。(1年)
- ・3日間テレビもゲームも無い生活はいやだなと思ったけど思ったより全部楽しかった。(2年)
- ・瞑想タイムは足が痛かったけど、気分が落ち着いた。(2年)
- ・一人で勉強していると途中であきらめてしまい、長続きしないけれど、みんなと一緒に勉強すると3日間がアツという間に過ぎてしまい、分らなかった所も教えてもらってできるようになった。(3年)
- ・音読破は、一番しんどかったけれど、これをやったらこれからは少々しんどいことでもがんばって乗り越えていけると思った。(3年)

エ 「マインドマップ講演会」の実施

マインドマップとは、英国のトニー・ブザン氏が考案した放射思考のツールで、創造性や記憶力を高める有効な手段として注目されている。未整理の情報でも、このマップなら思い付くままに書き始めることができ、意見の整理や提示にも向いている。

「ブザン教育協会」を通し、平成 21 年 7 月 15 日には、内山雅人氏の講演会が実現した。研究発表会当日(平成 22 年 11 月 9 日)には、国語・英語・数学のマインドマップを使った授業を公開した。

マインドマップは、生徒にとっての表現・思考・記憶の支援ツールとして、教員にとっての教授・学習状況分析の支援ツールとして効果があった。



マインドマップで「自分」を表現(生徒作品)



マインドマップによる板書例「無セキツイ動物の分類」

公開授業 1年英語

学んだことを自分で表現して理解を確かめるマインドマップの利用

公開授業 2年数学

マインドマップをどのように自分の問題に活かしていくかを指導

公開授業 3年国語

「松と杉」のイメージをゲームタッチで表現

主語と動詞という最初の指示から関係を描く生徒

自分の描いたマインドマップを活用する姿

内容を読み取り、関係構造を視覚化

(2) 3年間の取組の成果と今後の課題に向けて

平成21年4月に実施した全国学力・学習状況調査で課題が見られた「数学A」を、平成22年1月に再度3年生に受験させると、平均正答率が、9.7ポイント上昇した。4月の正答率を基に分けた上位層・中位層・下位層による上達度を比較すると、特に下位層が+17%の伸びとなった。下位層を中心とした基礎学力の定着が進み、正答率3割弱のグループを5割弱まで押し上げ、全体の正答率も上昇したと見ている。また、本校では平成17年度から、ベネッセ総合学力調査などを利用して現状分析を行い、様々な取組を通して、確かな学力を育てようとしてきた。その結果、活用力の向上に一定の成果を上げている(全国学力・学習状況調査)。しかし、学年集団による大きな偏差や、知識力の定着に課題が残る。また、固定的な人間関係を解消するため視野を広げる取組や、互いの弱点を補いながら生徒に主体的に企画・活動させるような取組をさらに増やす必要があると考えている。

